

平成 31 年度

事業計画書

(2019 年度)

公益財団法人大阪ユースホステル協会の活動目的である「青少年の健全育成」に、今年度も積極的に取り組んでまいります。その目的の達成のために時代の変化や社会の要請の変化にも柔軟に対応し、施設の特徴を活かした魅力の付加や事業やプログラムの教育的価値と楽しさがより伝わるよう工夫し、ホームページやチラシからの発信だけでなく、全国のユースホステルや各種関係団体と連携して幅広く発信します。また、設備の整備や接客対応の向上など、より利用者に喜ばれるサービスを提供いたします。

基本方針

1. 青少年健全育成への取り組み

拠点となる 3 つの青少年施設の運営および各種事業を通じて、ユースホステル運動の活性化や、青少年の健全育成に取り組めます。また、近畿ブロックユースホステル協会協議会としての共同企画、広報活動の強化に取り組めます。

2. 利用者視点に立つ施設の運営

世界各国から訪れる旅行者・青少年団体のための宿泊施設として、また合宿研修等の教育的な場として、直営、指定管理の各施設を引き続き運営します。「更なる利用促進」「利用者満足度の向上」「施設の健全な維持管理」を基本方針として、今年度は、大阪市立青少年センターの指定管理の最終年度となるので、2020 年度からの指定管理を確実に獲得して、今後の安定した協会運営に繋がります。国内外の新規利用団体の開拓、個人利用者獲得増のための予約サイトの積極的な活用、各種関係団体との連携を推進します。そして、災害時の備蓄品の整備、管理ルールの徹底をして、災害に強い協会を目指します。

3. 各種主催事業の実施

子どもや家族を対象とし、体験活動を通じて子どもの成長や家族の絆を深めることを促します。また、ユースホステルの事業を通じて自然や文化や教養等に接してもらうため、全年齢層を対象としてウォーキングやカルチャースクールを実施します。その事業運営に欠かせないボランティアリーダーの育成にも積極的に取り組めます。

4. 人材育成とモチベーションアップ

施設・設備の維持管理や指導のスキルはもとより、礼儀正しい態度、親切で丁寧な接客、利用目的達成のための的確な支援等、クオリティの高い対応を行うために、研修・通信教育を継続し、次世代の協会・青少年のための新事業のタネの発見と育成をすることで、働く意欲を高めます。

事業計画

1, ユースホステルの普及・広報

会員の維持と新規会員獲得はもとより、ユースホステルを知らない層に対して、施設や事業を積極的にPRするとともに、あらゆる広報の機会を逸することなく、周知に努めます。

- ・デジタル会員証の積極的な推進
- ・ホームページや、メールマガジン、SNS等を利用した施設や事業の広報
- ・各種パブリシティーや公共施設への情報提供
- ・ホステリングマガジン設置個所の増強
- ・主催事業の参加や団体での利用をきっかけとした参加者各位へのユースホステルへの誘い
- ・全国14ヶ所のキーホステルと協働した団体の誘致
- ・近畿ブロックユースホステル協議会の一員としての取り組み

2, ユースホステル運動の事業推進

(1) 子ども事業

- ① 主に当協会施設を利用した日帰りイベント 5本
- ② 宿泊を伴うホステリング・キャンプ 1本
- ③ 関係団体が実施する子ども事業への協力・出展
(子どもカーニバル等)

(2) ウォーキング事業

- ① 健脚者向け長距離歩行やホステリング事業 2本
 - ・第47回伊勢迄歩講(12月)
 - ・一発チャレンジ100km歩行(5月)
- ② 日帰り近郊ウォーキング・ハイキング 3本
- ③ 歩行検定 1本

(3) 会員サービスの事業・国際交流

- ① 旅行相談会(月1回)の開催
- ② 外国人旅行者のためのインフォメーション活動

(4) リーダーと指導者の養成

- ① ボランティアリーダーの委嘱会・合同研修会
- ② ボランティアリーダー募集のための合同説明会
- ③ ボランティア各組織ごとの専門的研修会
- ④ 大学ユースホステルクラブの活動支援

(5) 広報活動

- ① 近畿ブロックユースホステル協議会での共同広報
- ② キーホステル(全国14ヶ所)での共同広報
- ③ モンベルクラブフレンドフェアへのブース出展
- ④ 大阪観光局等が主催する商談会への出席や広報資料の提供
- ⑤ 各種情報掲載サイトへの情報提供

3, 新大阪事業所(大阪市立青少年センター)

広報の充実とクオリティーの高い接客に努めるとともに、相互利用の促進を図るとともに、インバウンドへの対策も進めてまいります。文化ゾーン(貸室)稼働率62%、宿泊ゾーン(新大阪ユースホステル)利用者23,000人ベッド稼働率50%、カフェ利用者15,000人の目標達成を目指します。また、利用者満足度の向上により安定した運営を行うため、設備・備品の更新と充実を進めます。

(1) 文化ゾーン

- ① アンケートや利用者の声により、利用者ニーズを把握し、設備・備品の更新を順次進め、利用者サービスの向上に努める
- ② 貸室の定員や仕様の見直しを行い、より使いやすい施設を目指す
- ③ インターネット予約のさらなる推進

(2) 宿泊ゾーン(新大阪ユースホステル)

- ① 学生割引キャンペーンや夜行バスプラン、ファミリーやグループ向け1室利用プランなど魅力ある企画を予約サイトで積極的に展開。またOTAにおいてツイン・和室の販売も行う。
- ② 団体予約サイトへの登録や、文化ゾーンとの併用利用をアピールして、団体宿泊者の増加を図る。
- ③ 多種多様な利用に対応できるよう、食事メニューの充実を図り、旅行会社への団体・インバウンド営業を行う。
- ④ 居心地が良く、かつ思い出に残るユースホステルであるために、安心・安全・清潔はもとより、イベント等にも力を入れる。

(3) レストラン(ココカフェ)

- ① 広報の強化
 - ・ぐるなび、ホットペッパー、食ベタイム、ランチパスポートへの掲載。
 - ・ファックスでのDMによる地域利用の促進
 - ・ライブ利用者増のために、プロジェクションマッピングを導入し、そのライブ動画(フォークソング)をWEBで配信。

- ② タイアップによる利用促進
 - ・ゼクシー結婚式紹介所、オーセプロモーションとのタイアップによる、結婚式二次会や同窓会等の獲得。
 - ・台湾デザートメーカーとの提携 本場のスノーアイスの提供
タピオカデザートの提供
- ③ 弁当メニューの充実を図り、会議室利用者からの受注を増やす。
- ④ イベントの企画・実施
ライブ需要拡大を目指し、ライブの展示会を開催
ウエディング 2 次会の需要拡大を目的とした試食会の開催
- ⑤ 特別支援学校の校外学習におけるアレルギーや摂食障がいに対応した昼食の提供

(4) 事業の企画と実施

- ① 青少年育成事業

・ここぷらキッズイベント	毎月 1 回
・K I D S D A N C E	1 コース
・七夕まつり(笹と短冊の設置)	7 月
・夏休み 親子で楽しむ工作教室	8 月
・高校生KOKOチャレンジアワード (バンドやダンスのコンテスト)	11 月予選・1 月決勝
・KOKO秋フェスティバル	10 月
・サンクスギビングフェスタ (練習利用者対象の発表会)	3 月
- ② 自主事業

・童謡喫茶	毎月 1 回
・カルチャー教室 (ヨガ教室、大人のためのピアノ教室など)	年間各 3 コース
- ③ 宿泊者対象事業

・ロビーコンサート (クロマチックハーモニカ、ゴスペル、尺八、オカリナ等)	毎月 1 回
・日本文化体験 (折り紙、書道、浴衣着付、コスプレ、茶道等)	毎月 1 回
・季節のイベント (七夕、淀川花火、ハロウィン、クリスマス、 年末年始、節分、ひな祭り等)	適時
・その他(似顔絵等)	毎月 1~2 回

④ ココカフェイベント事業

・フォークソングナイト

毎月1回

・ココカフェライブ

隔月1回

(5) 利用獲得目標

	2019年目標	2018年見込	見込比
貸室(文化ゾーン) 利用率	245,000人 62%	241,500人 60%	101%
宿泊(新大阪ユースホステル) ベッド稼働率 客室稼働率	23,000人 50% 74%	20,500人 45% 73%	112%
レストラン ランチ (ココカフェ) パーティー 結婚式二次会	15,000人 155組 3,685人 20組 550人	14,300人 145組 3,350人 14組 475人	104% 110% 115%

4, 羽衣事業所(大阪国際ユースホステル・羽衣青少年センター)

さらに拡大するインバウンド需要を踏まえ、それに特化した特別プランを作成し、広報活動や旅行代理店への営業活動を行い、海外からの新規利用団体の開拓に取り組みます。

施設整備については、5月には昨年9月に台風21号で被害を受けた屋根の改修工事を行ないます。また、老朽化した部分も順次改修を行います。

近隣施設(浜寺公園、漕艇センター、臨海スポーツセンター)との連携も継続して行い、それぞれの顧客に対して、宿泊や食事およびミーティングやレクリエーション等が可能な施設として利用の促進に努めます。

(1) 利用促進活動

- ① 施設の強みを再確認した上での利用提案・PR活動の強化
- ② インバウンドに特化した旅行会社への営業活動
- ③ 商談会や施設紹介の展示会(トラベルマートや旅行博等)への積極的な参加
- ④ 野外炊さん場(BBQ場)のWeb予約システムの構築
- ⑤ 貸会議室の予約に特化したWebサイトとの提携
- ⑥ 近隣住民や公園利用者より要望の大きかった、ランチバイキングの一般開放

(2) 施設の管理・運営

- ① ユースホステルと青少年センターの屋根の補修
- ② 災害に備えた備蓄管理

- ③ 館内 Wi-Fi 設備の導入
- ④ PC の更新 (Windows7 サポート終了のため)
- ⑤ ホームページの充実

(3) 地域・人との連携

- ① 公園を軸とした近隣施設との共同イベントの実施
- ② シルバー世代が気軽に参加できるイベントの実施
- ③ 地域の子どもやファミリーを対象としたイベントの実施
- ④ 新規ボランティアの募集と育成

(4) エコ活動の推進

- ① 節電・節水等を入所時のオリエンテーションやポスター掲示等で啓蒙
- ② 食材の廃棄ロス減少への取組み

(5) 事業の企画と実施

- ① こども対象の事業
 - ・英語であそぼう 4回×3コース 4～3月
 - ・はごろもキッズデイ 8回
 - ・キッズクッキング 3回×2コース 10～3月
 - ・デイキャンプ 3月
- ② 家族対象の事業
 - ・アウトドアクッキング 6・10・3月
 - ・親子でクラフト 7月
- ③ 一般向けの事業
 - ・教室事業
(ヨガ・太極拳・フラダンス等) 32教室
 - ・童謡喫茶 10回(8・3月除く)
 - ・寄席 6・10月
 - ・ノルディックウォーキングツアー 6・11月
- ④ 地域と連携した施設開放の事業
 - ・友×遊フェスティバル 11月
- ⑤ 宿泊者を対象とした事業
 - ・大晦日・元旦の宿泊イベント 12・1月
- ⑥ 食堂を利用したイベント
 - ・ボジョレーヌーボーパーティー 11月
 - ・日本酒イベント 2月

(6) 利用獲得目標

	2019年目標	2018年見込	見込比
羽衣青少年センター 稼働率	140,000人 28%	134,000人 26%	104%
大阪国際ユースホステル ベッド稼働率 客室稼働率	26,000人 36% 40%	24,500人 33% 37%	106%

5. 大阪府立少年自然の家

自然の家の指定管理も第3期4年目を迎えます。自然の家の利用者層の4割は学校団体ですが、少子化の影響で学校数は伸び悩んでいます。今一度、自然の家の設置目的である「心豊かな子どもの育成」を図るために、自然の家ならではの体験活動の充実をはかり、学校団体利用を促進します。

訪日学校団体招致のために、日本文化体験、和食の提供や地域の豊かな自然環境を生かしたプログラムの展開を行います。また、さらなる利用増のためにイベント会場としての利用を促進するなど、多様な利用者ニーズに対応してまいります。昨年3月に開業した「バーベキューガーデン奥貝塚」についても、自然の家ならではの新たなメニュー開発と効果的な広報を仕掛けてまいります。

(1) 投資による新規利用者層の開拓のための施設整備

- ① バーベキューガーデン奥貝塚においてオリジナルメニュー開発による更なる集客と広報
- ② 宿泊棟のWi-Fi利用範囲の拡大によるさらなる利用促進
- ③ フィールドアスレチック施設の拡充と広報

(2) 利用促進活動

- ① 動画や予約フォームの導入によるホームページの改訂
- ② 営業担当の設置により、学校やインバウンドの誘致活動
- ③ インターネットを活用する団体を誘致（企業研修・大学生）
- ④ 一般食以外に謝恩会やパーティなどの特別食の受注推進
- ⑤ プログラム支援をはじめとしたオプションサービスの設定

(3) 施設の管理・運営

- ① 光熱費の削減のために施設内のLED化の推進
- ② 食物アレルギーや摂食障がいのある方への対応食の提供
- ③ 宿泊棟や本館の建具・鍵などの修繕
- ④ 宿泊棟の寝具の交換と拡充（毛布やシーツなど）
- ⑤ 館内およびホームページにおけるインフォメーションの充実

(4) 社会教育施設としての取り組み

- ① 学校の授業と連動したプログラム提供
- ② 教員や一般向けに野外活動やレクリエーション講習実施
- ③ 食育の推進と食事内容の充実
- ④ 学校との連携、出前講座の実施
- ⑤ ボランティアリーダーの育成と活動場面の拡大
- ⑥ 障がい者の就労支援と人に優しい施設づくり
- ⑦ 近隣市町村との連携
- ⑧ 青年の家等連絡協議会を中心に他の青少年施設と連携

(5) 事業の企画と実施

- ① 子ども対象
 - ・フォレストジュニアクラブ 年間を通じ6回
 - ・こどもワイルドキャンプ 8月
 - ・中高生チャレンジキャンプ 8月
 - ・アドプトフォレスト事業 11月
- ② 家族対象
 - ・木の実でジャムづくり 6月
 - ・秋のファミリーキャンプ 9月
 - ・親子deしぜんのようちえん 9月・1月
 - ・たき火を楽しもう 1・2月7回
 - ・初めてのダッチオーブン 12月・1月・2月
- ③ 社会体育・指導者養成
 - ・プログラム体験会 4月
 - ・教員のための野外活動教室 申込みに応じ随時
 - ・ツリーイング指導者養成講習会 6月・12月
 - ・プロジェクトラーニングツリー講習会 1月
- ④ 知的障がいのある子どもの支援事業
 - ・臨床動作法と乗馬体験 10月
- ⑤ 課題をかかえる青少年への支援事業
 - ・こども食堂「森のレストラン」 11月
- ⑥ 野外活動と他分野の融合事業
 - ・コスプレの森 年間を通じ6回
 - ・森の婚活 9月
 - ・森の絵本作り 10月
 - ・えほんのひろば 11月
- ⑦ 大人向けの自然体験活動
 - ・おとなのえんそく 9月・11月・2月
 - ・シルバー生涯学習 DAY 申込みに応じ随時

- ⑧ 地域や市町村等との連携事業
- ・おおさか元気広場 出前講座 申込みに応じ随時
 - ・自然の家オープンデー
 - (音の葉音楽祭・自然体験プログラム等) 11月

- (6) 閑散期対策先行予約キャンペーンの実施
 体育館・研修室等の使用施設を予約時に確定
 (通常、使用施設の確定は1か月前)

- (7) 団体向けセットプラン

- ① 野外料理と自然体験活動
- ② ツリーイングやスラックライン等の体験活動
- ③ 子ども会向けにプログラム指導をセットしたモデルプラン
- ④ 訪日外国人向け日本文化体験モデルプラン

- (8) 利用獲得目標

	2019年目標	2018年見込	見込比
日帰りおよび宿泊利用	105,400人	93,500人	112.7%

< 共同事業体 一般財団法人大阪府青少年活動財団 >

以 上